

夏（6～8月）の天候

2023年（令和5年）夏（6～8月）の日本の天候は、夏の平均気温は北・東・西日本でかなり高くなりました。日本の平均気温は1898年以降で夏として最も高くなりました。夏の降水量は東・西日本太平洋側と沖縄・奄美で多かった一方、北日本太平洋側で少なくなりました。夏の日照時間は北・東日本日本海側と北・東日本太平洋側でかなり多かった一方、沖縄・奄美で少なくなりました。

2023年（令和5年）夏（6～8月）の天候の特徴は以下のとおりです。

○夏の平均気温は北・東・西日本でかなり高くなりました。日本の平均気温は1898年以降で夏として最も高くなりました

北日本を中心に暖かい空気に覆われやすく、南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、夏の平均気温は北・東・西日本でかなり高くなりました。1946年の統計開始以降、夏として北日本と東日本で1位、西日本で1位タイの高温となりました。また、15地点の観測値による日本の平均気温偏差は+1.76℃となり、1898年の統計開始以降で最も高かった2010年（+1.08℃）を大きく上回り、夏として最も高くなりました。

○夏の降水量は東・西日本太平洋側と沖縄・奄美で多かった一方、北日本太平洋側で少なくなりました

梅雨前線や台風第6号、第7号などの影響を受けたため、夏の降水量は東・西日本太平洋側と沖縄・奄美で多くなりました。一方、高気圧に覆われやすく晴れた日が多かった北日本太平洋側で少なくなりました。

○夏の日照時間は北・東日本日本海側と北・東日本太平洋側でかなり多かった一方、沖縄・奄美で少なくなりました

高気圧に覆われやすく晴れた日が多かったため、夏の日照時間は北・東日本日本海側と北・東日本太平洋側でかなり多くなりました。一方、8月上旬に台風第6号の影響を受けた沖縄・奄美で少なくなりました。

別紙（概況、統計値等）[PDF形式:1.51MB]

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko2023jja_besshi.pdf

問合せ先：電話 03-6758-3900（代表）

- ・（観測値や記録） 大気海洋部 観測整備計画課 村井（内線 4268）
- ・（天候・梅雨の解説） 大気海洋部 気候情報課 楳田（内線 4546）
- ・（日本の平均気温） 大気海洋部 気候情報課 平井（内線 4542）